



シリーズ 仏教の思想と文化—インドから日本へ



阿彌陀さん

特集展示

龍谷大学

龍谷ミュージアム

RYUKOKU MUSEUM

中央:重要文化財 木造宝冠阿彌陀如来坐像 平安時代前期 滋賀・梵釈寺
画像提供:東洋歴史民俗博物館
左:一枚摺「南無阿彌陀仏」 江戸時代 龍谷大学
右:一枚摺「五劫思惟ノ御身影」 江戸時代 龍谷大学
左上:銅阿彌陀如来懸仏 南北朝時代(部分)
右上:刺繍種子阿彌陀三尊像 室町時代 京都・誓願寺(部分)
左下:清海曼荼羅 江戸時代 京都・善導寺(部分)

[入館料] 一般 550(450)円 シニア 450(350)円

大学生 400(300)円 高校生 300(200)円

※()内は前売り・20名以上の団体料金 ※シニアは65歳以上

※中学生以下、障がい者手帳等の交付を受けている方

およびその介護者1名は無料

※前売り券は2024年6月5日(水)~7月12日(金)まで、

龍谷ミュージアムHPにて販売。

※入館は予約優先制です。ご予約は龍谷ミュージアムHPから。

[主催] 龍谷大学 龍谷ミュージアム、京都新聞

[協力] 龍谷大学親和会、龍谷大学校友会



これわアミダ!

あみだアミダ!



七変化!



2024 7/13(土) - 8/18(日)

京都駅から
徒歩約12分
西本願寺前

[休館日] 月曜日(ただし、7月15日(月)、8月12日(月)は開館)、7月16日(火)、8月13日(火) [開館時間] 10:00~17:00 ※入館は16:30まで

シリーズ展 仏教の思想と文化
—インドから日本へ—
インドで誕生した仏教が
アジア全域に広がり、
日本社会にも根付いていく
約2500年のあゆみを
大きく「アジアの仏教」と
「日本の仏教」に分けて
紹介します。

第1部 アジアの仏教

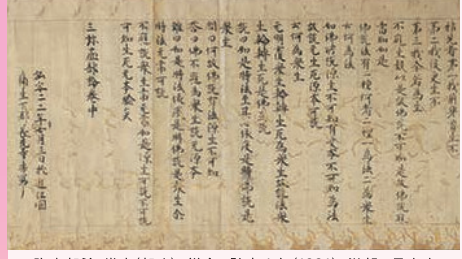
インドで仏教が誕生し、
アジア全域に広がる



四面仏坐像
マトウラー
2世紀
龍谷大学



触地印仏坐像
東インド
10〜11世紀
龍谷大学



三弥底部論 巻中(部分) 鎌倉・弘安4年(1281) 滋賀・長光寺

第2部 日本の仏教

日本へ仏教が伝来し、
日本社会に根付く

阿彌陀さん 七変化!

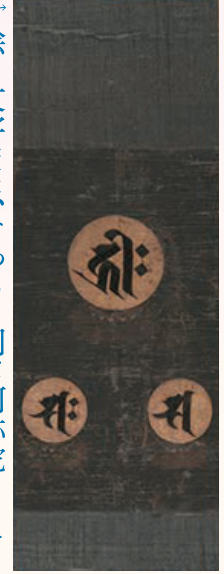
2024 7/13(土) - 8/18(日)

特集
展示

一枚摺「南無阿彌陀仏」 江戸時代 龍谷大学



名号で阿彌陀さんの体をデザイン!



絵と文字(種子)、どちらも同じ阿彌陀トリオ!



阿彌陀三尊像 張思恭筆
中国・南宋時代 京都・永観堂禅林寺

刺繍種子阿彌陀三尊像
室町時代 京都・誓願寺

極楽浄土の教主・阿彌陀如来は、

古くからアジア各地で信仰された仏です。日本においても、今も多くの寺院やお堂で
阿彌陀さんの彫刻や絵画、あるいは名号がご本尊とされ、広く親しまれています。
この特集展示では、重要文化財「宝冠阿彌陀如来坐像」(滋賀・梵釈寺)をはじめ
さまざまな信仰のあり方とともに、多様に変化する阿彌陀如来のイメージをご紹介します。
知ってるようで知らない、まだ出会ったことのない阿彌陀さんにご注目ください!



六字名号曼荼羅
江戸・慶応3年(1867)



一枚摺「五劫思惟御身影」
江戸時代
龍谷大学



銅阿彌陀如来懸仏
南北朝時代
龍谷大学

めっちゃ悩んで
痩せちゃいました...

ほっちゃんりレリーフになった阿彌陀さん

日本浄土三曼荼羅のひとつ!
阿彌陀さんの華麗なお住まい

清海曼荼羅
江戸時代 京都・善導寺



関連イベント 各イベントの詳細、申込方法は
龍谷ミュージアムHPをご覧ください。

ギャラリートーク
展示室で作品の見どころを学芸員が解説します。
日時: 7月27日(土)、8月3日(土) 13:30~14:00
事前申し込み不要/ 聴講無料/ 当日観覧券必要

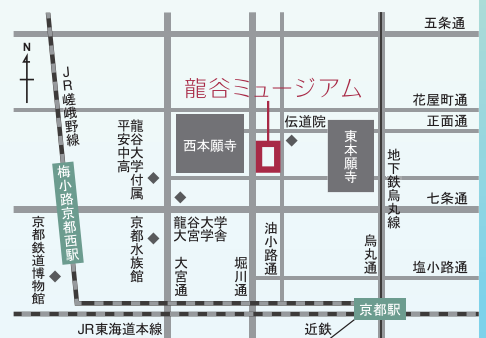
体験プログラム
「やってみよう、江戸時代のすごろく!」
サイコロを3つ用いるなど、ちょっと変わった江戸時代のすごろく。
ご家族、お友だちでどうぞお楽しみください!
日時: 会期中の開館日・時間にご自由にお楽しみいただけます。
7月20日(土)、8月10日(土) 14:00~14:30は学芸員による特別レクチャーもあります!

事前申し込み不要/ 観覧券不要/ 地下1階エントランスホール

龍谷大学
龍谷ミュージアム RYUKOKU MUSEUM
〒600-8399 京都市下京区堀川通正面下
TEL.075-351-2500
https://museum.ryukoku.ac.jp



状況によりやむを得ず
予定を変更することがあります。
最新の情報は
龍谷ミュージアムHPを
ご確認ください。



次回予告 秋季特別展「眷属」2024年9月21日(土)~11月24日(日) 「眷属」とは、仏や菩薩など信仰の対象となる主尊に付き従う存在のこと。
2024年1~2月に開催した「特集展示:眷属」から内容を大幅に拡大してご紹介します!

アクセス | ●JR・近鉄・地下鉄烏丸線「京都」駅から徒歩約12分 ●京都市バス(9・28・75系統)「西本願寺前」下車 徒歩約2分 ※当館には専用駐車場はございません。ご来館の際は、公共交通機関をご利用ください。